

## 整形外科・運動器病学講座

### Orthopaedic Surgery

教授	木村 友厚	Tomoatsu Kimura
助教授	金森 昌彦	Masahiko Kanamori
講師(前)	石原 裕和	Hirokazu Ishihara
講師	松下 功	Isao Matsushita (リハビリテーション部)
講師	川口 善治	Yoshiharu Kawaguchi
助手	森田 裕司	Yuji Morita
助手	長田 竜介	Ryusuke Osada
助手	下条 竜一	Ryuichi Gejo
助手	安田 剛敏	Taketoshi Yasuda
助手	阿部由美子	Yumiko Abe
助手	野上 重治	Shigeharu Nogami
技官	佐野 明美	Akimi Sano

#### 著 書

- 1) Kawaguchi Y.: Treatment of OPLL and OLF of the Cervical Spine : Long-term Results, OPLL: Ossification of the posterior longitudinal ligament 2nd Edition, by Yonenobu K., et al. (Ed.) 219-223, Springer, Tokyo, 2006.
- 2) 木村友厚：関節リウマチ（画像診断）。「Expert 膠原病・リウマチ（改訂第2版）」住田孝之編，194-201，診断と治療社，東京，2006。

#### 原 著

- 1) Kawaguchi Y., Kanamori M., Ishihara H., Abe Y., Nobukiyo M., Shigeta T., Hori T., Kimura T.: Postoperative delirium in spine surgery. The Spine J., 6: 164-169, 2006.
- 2) Hori T., Kawaguchi Y., Kimura T.: How dose the ossification area of the posterior longitudinal ligament progress after cervical laminoplasty? Spine, 31: 2807-2821, 2006.
- 3) 金森昌彦，石原裕和，川口善治，大森一生，信清正典，辻 陽雄：腰椎後方固定における Bosworth 法の適応と臨床成績．整形外科，57：379-382，2006。
- 4) 松下 功，森田裕司，下条竜一，長瀬正徳，杉森一仁，小坂英子，市村和徳，木村友厚：関節リウマチに対するセメントレス人工股関節置換術の長期成績．日本人工関節学会誌，36：90-91，2006。
- 5) 松下 功，森田裕司：VerSys hip system の中期成績と X 線学的評価．Hip Joint，32：473-476，2006。
- 6) 松下 功，杉山英二，多喜博文，蓑 毅峰，篠田晃一郎，木村友厚：当院におけるリウマチ教育検診入院の検診結果について．中部リウマチ，37：12-13，2006。
- 7) 小坂英子，松下 功，杉山英二，多喜博文，蓑 毅峰，篠田晃一郎，木村友厚：当院におけるインフリキシマブの使用経験 - 有害事象を中心に - ．臨床整形外科，41：1177-1181，2006。
- 8) 漆崎亜弥，川口善治，関 庄二，堀 岳史，石原裕和，木村友厚：三次元 CT を用いた頸椎後縦靭帯骨化症の骨化形態についての検討．中部整災誌，49：789-790，2006。
- 9) 安田剛敏，川口善治，金森昌彦，石原裕和，木村友厚：アテトーゼ型脳性麻痺患者に伴う頸髄症に対する頸部脊柱管拡大術の成績．中部整災誌，49：445-446，2006。
- 10) 下条竜一，森田裕司，松下 功，杉森一仁，木村友厚：MIS-TKA のコンポーネント設置角に及ぼす骨切りガイドと展開の影響．日本人工関節学会誌，36：2006。
- 11) 森田裕司，下条竜一，松下 功，木村友厚：右 THA と両側 TKA 術後に 3 関節感染を生じた 1 例．日本人工関節学会誌，35：129-130，2005。(2005 年追加分)
- 12) 長田龍介：リウマチ手関節に対する Sauve-kapandji 法の適応．日本手の外科学会誌，22：524-527，2005。(2005 年追加分)

## 症例報告

- 1) Matsushita I., Uzuki M., Matsuno H., Sugiyama E., Kimura T.: Rheumatoid nodulosis during methotrexate therapy in a patient with Rheumatoid Arthritis. *Mod. Rheumatol.*, 16: 401-403, 2006.
- 2) 金森昌彦, 徳永綾乃, 大森一生: 複雑な核型を特徴としたびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の 1 例. *整形外科*, 57: 1494-1495, 2006.
- 3) 大竹由真, 金森昌彦, 大森一生, 木村友厚: 大腿軟部腫瘍にて発見された Ki-1 抗原陽性 (未分化大細胞型) リンパ腫の 1 例. *整形外科*, 57: 1614-1617, 2006.
- 4) 堀 岳史, 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 木村友厚: 椎間関節造影にて症状の再現を認めた腰椎椎間関節嚢腫の 1 例. *整形外科*, 57: 818-819, 2006.
- 5) 長田龍介: 先天性橈骨頭脱臼に対して尺骨基部の骨延長を行った 1 症例. *日本肘関節学会誌*, 13, 141-142. 2006.
- 6) 御旅屋宏史, 安田剛敏, 若宮一宏, 高木寛司, 堀 岳史: 頸椎過伸展により著明な角状前彎変形を呈した強直性脊椎炎の 1 例. *整形外科*, 57: 781-784, 2006.

## 総 説

- 1) 木村友厚: 関節軟骨の構造と軟骨破壊の基礎. *関節外科 (4 月増刊)*, 25: 10-14, 2006.
- 2) 金森昌彦, 安田剛敏, 信清正典, 石原裕和, 川口善治, 野上重治: 変性すべりを伴った腰部脊柱管狭窄症に対する手術成績と不安定性腰椎に関する考察 前方椎体間固定術と後方除圧術との比較. *別冊整形外科*, 50: 182-188, 2006.
- 3) 松下 功, 木村友厚: 関節リウマチ - 早期診断と最新の治療 - 関節リウマチの手術療法. *Current Therapy*, 24: 68-73, 2006.

## 学会報告

- 1) Sugimori K., Motomura H., Matsui K., Kitajima I., and Kimura T.: BMP-2 activates PI3K/Akt-NF-kappaB signal transduction pathway in chondrogenesis. 52nd Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, 2006, 3, Chicago, U.S.A.
- 2) Seki S., Kizawa H., Mori M., Mio F., Kawaguchi Y., Kimura T., Ikegawa S.: SMAD, ERK1/2 and PI3 kinase pathways regulate transforming growth factor- induced aggrecan gene expression in nucleus pulposus cells. 52nd Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, 2006, 3, Chicago, U.S.A.
- 3) Gejo R., Morita Y., Matsushita I., Sugimori K., Kimura T.: The influence of extensor mechanism on flexion-extension joint gap in TKA - Changes of patellar tendon strain - . 52nd Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, 2006, 3, Chicago, U.S.A.
- 4) Kawaguchi Y., Ishihara H., Kanamori M., Yasuda T., Abe Y., Nogami S., Seki S., Hori T., Tsuji H., Matsui H., Nakano M., Kimura T.: Adjacent segment disease following expansive lumbar laminoplasty. 33rd annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2006, 6, Bergen, Norway.
- 5) Seki S., Kawaguchi Y., Chiba K., Mikami Y., Mio F., Mori M., Kubo T., Toyama Y., Kimura T., Ikegawa S.: CILP I395T is associated with susceptibility to lumbar disc disease. 33rd annual meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine, 2006, 6, Bergen, Norway.
- 6) Hori T., Kondo T., Zhao Q.L., Kanamori M., Kimura T.: Anisomycin-induced Apoptosis and its Enhancement by Mild Hyperthermia. 4th Asian Congress of Hyperthermic Oncology & 23th Japanese Congress of Hyperthermic Oncology, 2006, 9, Nara, Japan.
- 7) 藤田雄介, 大竹由真, 金森昌彦: 脛骨外側顆部に生じた疲労骨折の 1 例. 第 18 回飛騨整形外科懇話会, 2006, 1, 高山.
- 8) 長田龍介: 先天性橈骨頭脱臼に対して尺骨基部の骨延長を行った 1 症例. 第 18 回日本肘関節学会, 2006, 1, 名古屋.
- 9) 小坂英子, 長田龍介: 上肢に発生した壊死性筋膜炎. 第 23 回中部日本手の外科研究会, 2006, 1, 豊橋.
- 10) 松下 功, 森田裕司, 下条竜一, 長瀬正徳, 杉森一仁, 小坂英子, 市村和徳, 木村友厚: 関節リウマチに対するセメントレス人工股関節置換術の長期成績. 第 36 回日本人工関節学会, 2006, 2, 京都.
- 11) 下条竜一, 森田裕司, 松下 功, 杉森一仁, 木村友厚: MIS-TKA のコンポーネント設置角に及ぼす骨切りガイドと展開の影響. 第 36 回日本人工関節学会, 2006, 2, 京都.
- 12) 杉森一仁, 元村 拓, 北島 勲, 松井恒志, 木村友厚: 軟骨分化における BMP-2 と PI3K/Akt-NF-kB シグナル活性

化との関連．第 19 回日本軟骨代謝学会，2006，3，横浜．

- 13) 渡邊裕規，塩生真史，木全弘治，木村友厚，渡辺秀人：Splicing factor 3b は BMPR-IA に結合し骨軟骨分化を抑制する．第 19 回日本軟骨代謝学会，2006，3，横浜．
- 14) 関 庄二，川口善治，千葉一裕，三上靖夫，木澤秀樹，三尾 太，森 正樹，益田郁子，久保俊一，戸山芳昭，木村友厚，池川志郎：腰椎椎間板ヘルニアの遺伝子解析．第 19 回日本軟骨代謝学会，2006，3，横浜．
- 15) 関 庄二，川口善治，千葉一裕，三上靖夫，木澤秀樹，三尾 太，森 正樹，益田郁子，久保俊一，戸山芳昭，木村友厚，池川志郎：腰椎椎間板ヘルニアの発症メカニズムについて - CILP I395T の TGF- $\beta$ 1 作用抑制を介する細胞外マトリックス発現抑制の相違 - ．第 19 回日本軟骨代謝学会，2006，3，横浜．
- 16) 堀 岳史，金森昌彦，安田剛敏，野上重治：腰部脊柱管狭窄症を合併した慢性炎症性多発神経炎の 1 例．第 1 回富山脊椎脊髄画像診断研究会，2006，3，富山．
- 17) 金森昌彦，大森一生，安田剛敏，石原裕和，川口善治，野上重治，木村友厚：2 種類の異なる脊椎ナビゲーションシステムの有用性と限界．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 18) 川口善治，堀 岳史，金森昌彦，石原裕和，安田剛敏，阿部由美子，野上重治，関 庄二，木村友厚：頸椎後縦靭帯骨化症 (OPLL) に対する後方手術の選択根拠．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 19) 川口善治，金森昌彦，石原裕和，安田剛敏，阿部由美子，野上重治，関 庄二，堀 岳史，木村友厚：頸椎椎弓形成術後の患者の職業復帰からみた ADL の検討．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 20) 関 庄二，川口善治，千葉一裕，三上靖夫，三尾 太，森 正樹，鎌田修博，久保俊一，戸山芳昭，木村友厚，池川志郎：腰椎椎間板ヘルニアの遺伝子解析．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 21) 関 庄二，川口善治，千葉一裕，三上靖夫，三尾 太，森 正樹，鎌田修博，久保俊一，戸山芳昭，木村友厚，池川志郎：腰椎椎間板ヘルニアの発症メカニズムについて - CILP I395T の TGF- $\beta$ 1 作用抑制を介する細胞外マトリックス発現抑制の相違 - ．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 22) 関 庄二，川口善治，松下 功，石原裕和，金森昌彦，木村友厚：片側 hip OA 患者における腰椎変性側弯の程度と側方アライメントの検討．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 23) 関 庄二，川口善治，千葉一裕，三上靖夫，三尾 太，森 正樹，鎌田修博，久保俊一，戸山芳昭，木村友厚，池川志郎：COL9A2 遺伝子ハプロタイプと腰椎椎間板ヘルニアとの相関．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 24) 堀 岳史，川口善治，金森昌彦，石原裕和，安田剛敏，阿部由美子，野上重治，木村友厚：頸椎椎弓形成術後に OPLL の骨化巣はどのように伸展するか？第 2 報．第 35 回日本脊椎脊髄病学会，2006，4，東京．
- 25) 伊藤芳章，森田裕司，長田龍介，下条竜一，杉森一仁，木村友厚：A 群連鎖球菌による壊死性筋膜炎の 1 例．第 106 回中部日本整形災害外科学会・学術集会，2006，4，大阪．
- 26) 漆崎亜弥，川口善治，関 庄二，堀 岳史，石原裕和，木村友厚：三次元 CT を用いた頸椎後縦靭帯骨化症の骨化形態についての検討．第 106 回中部日本整形災害外科学会・学術集会，2006，4，大阪．
- 27) 松下 功，杉山英二，多喜博文，松井祥子，蓑 毅峰，篠田晃一郎，引網宏彰，長田龍介，小坂英子，小林 正，木村友厚：学生教育ツールとしての関節リウマチ教育検診入院．第 50 回日本リウマチ学会総会・学術集会，2006，4，長崎．
- 28) 松下 功，森田裕司，下条竜一，小坂英子，木村友厚：関節リウマチに対するセメントレス人工股関節置換術の長期成績．第 50 回日本リウマチ学会総会・学術集会，2006，4，長崎．
- 29) 中村千恵子，松下 功，小坂英子，木村友厚：培養ヒト RA 滑膜線維芽細胞 (RASFC) に対するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 (HDACI) と超音波 (US) 照射の併用効果．第 50 回日本リウマチ学会総会・学術集会，2006，4，長崎．
- 30) 篠田晃一郎，蓑 毅峰，多喜博文，松下 功，引網宏彰，杉山英二，小林 正，木村友厚：関節リウマチ患者におけるミネソタ多面的人格目録 (MMPI) プロフィールの検討．第 50 回日本リウマチ学会総会・学術集会，2006，4，長崎．
- 31) 長田龍介，小坂英子，高木寛司：指伸筋腱損傷に対する長橈側手根伸筋腱移行．第 49 回日本手の外科学会学術集会，2006，4，浜松．
- 32) 渡邊裕規，塩生真史，木全弘治，木村友厚，渡辺秀人：Splicing factor 3b は BMPR-IA に結合し骨軟骨分化を抑制する．第 38 回日本結合組織学会，2006，5，群馬．
- 33) 金森昌彦，大森一生，安田剛敏，信清正典，川口善治，石原裕和，野上重治，木村友厚：2 種類の脊椎ナビゲーションシステムの比較による有用性とその限界．第 79 回日本整形外科学会学術総会，2006，5，横浜．

- 34) 川口善治, 金森昌彦, 石原裕和, 安田剛敏, 阿部由美子, 野上重治, 関 庄二, 堀 岳史, 木村友厚: 腰部脊柱管拡大術後の隣接椎間障害と再手術. 第 79 回日本整形外科学会学術総会, 2006, 5, 横浜.
- 35) 関 庄二, 川口善治, 千葉一裕, 三上靖夫, 尾矢剛志, 三尾 太, 森 正樹, 益田郁子, 鎌田修博, 久保俊一, 戸山芳昭, 木村友厚, 池川志郎: 腰椎椎間板ヘルニアの遺伝子解析. 第 79 回日本整形外科学会学術総会, 2006, 5, 横浜.
- 36) 八野田純, 川口善治, 関 庄二, 中村 宏, 木村友厚: 椎弓形成術後病変が消失した頸椎黄色靭帯石灰化症の経験. 第 174 回北陸整形外科集談会, 2006, 5, 福井.
- 37) 金森昌彦, 堀 岳史, 安田剛敏, 野上重治, 木村友厚: 骨・軟部腫瘍に対する針生検術の適応と限界. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 38) 金森昌彦, 信清正典, 安田剛敏, 野上重治, 鈴木賀代, 西潟一也: 化学療法にて気胸を生じた上腕骨骨肉種の 1 例. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 39) 伊藤芳章, 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 堀 岳史, 木村友厚: 腎細胞癌術後 10 年以上を経た坐骨転移により坐骨神経痛様症状を呈した 2 例. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 40) 堀 岳史, 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 木村友厚: Dibutylryl cyclic 3', 5'-adenosine monophosphate 投与によるヒト骨肉腫細胞に対する変化の検討. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 41) 安田剛敏, 金森昌彦, 野上重治, 堀 岳史, 木村友厚: 新しいヒト骨肉腫細胞株の樹立とその細胞学的特性の検討. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 42) 安田剛敏, 金森昌彦, 信清正典, 野上重治, 堀 岳史, 木村友厚: 足趾間部に発生した acral myxoinflammatory fibroblastic sarcoma の 1 例. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 43) 野上重治, 金森昌彦, 安田剛敏, 長田龍介, 信清正典, 石澤 伸, 木村友厚: 特徴的な染色体異常を認めた前腕部悪性末梢神経鞘腫 (MPNST) の 1 例. 第 39 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会, 2006, 7, 札幌.
- 44) 頭川峰志, 藤田雄介, 金森昌彦: 腰椎化膿性椎間関節炎と考えられた 1 例. 第 23 回立山セミナー, 2006, 7, 富山.
- 45) 頭川峰志, 藤田雄介, 金森昌彦: 腰椎化膿性椎間関節炎と考えられた 1 例. 第 19 回飛騨整形外科懇話会, 2006, 7, 高山.
- 46) 長田龍介, 小坂英子, 高木寛司, 浦山茂樹, 木村友厚: 手指伸筋腱断裂に対する長繞側手根伸筋腱移行. 第 35 回北陸リウマチ・関節研究会, 2006, 7, 金沢.
- 47) 金森昌彦, 安田剛敏, 野上重治, 堀 岳史: 骨軟部腫瘍に対する CGH マイクロアレイの分析. 第 65 回日本癌学会学術総会, 2006, 9, 横浜.
- 48) 安田剛敏, 金森昌彦, 野上重治, 堀 岳史: 新たに樹立したヒト骨肉腫細胞株の細胞学的特性と dbcAMP 添加による効果. 第 65 回日本癌学会学術総会, 2006, 9, 横浜.
- 49) 松下 功, 杉山英二, 多喜博文, 養 毅峰, 篠田晃一郎, 引網宏彰, 小坂英子, 木村友厚: 学生教育における RA 教育検診入院の有用性. 第 18 回中部リウマチ学会, 2006, 9, 津.
- 50) 小坂英子, 松下 功, 村上 純, 尾矢剛志, 石澤 伸, 福岡順也, 木村友厚: メトトレキサートと生物学的製剤の治療中にホジキンリンパ腫を併発した関節リウマチの 1 例. 第 18 回中部リウマチ学会, 2006, 9, 津.
- 51) 大杉佳哉, 安田剛敏, 金森昌彦, 野上重治, 木村友厚: 下腿に発生した extrapleural solitary fibrous tumor の 1 例. 第 175 回北陸整形外科集談会, 2006, 9, 金沢.
- 52) 金森昌彦, 森田裕司, 松下 功, 石原裕和, 木村友厚: 整形外科病棟からのインシデントレポートの検討. 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2006, 10, 神戸.
- 53) 松下 功, 森田裕司, 下条竜一, 杉森一仁, 小坂英子, 木村友厚: THA 術後の ADL について - 26mm 骨頭と 32mm 骨頭使用群の比較検討 -. 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2006, 10, 神戸.
- 54) 野上重治, 金森昌彦, 安田剛敏, 川口善治, 木村友厚: 腰部脊柱管狭窄症手術例における体幹筋量の検討. 第 107 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会, 2006, 10, 神戸.
- 55) 森田裕司, 松下 功, 下条竜一, 杉森一仁, 木村友厚: 大腿骨頭回転骨切り術後の骨頭骨棘の検討. 第 33 回日本股関節学会学術集会, 2006, 10, 東京.
- 56) 杉森一仁, 森田裕司, 松下 功, 市村和徳, 下条竜一, 小坂英子, 木村友厚: 大腿骨頭部骨折に対するハンソンピン固定の治療成績. 第 33 回日本股関節学会学術集会, 2006, 10, 東京.
- 57) 松下 功, 森田裕司, 下条竜一, 杉森一仁, 小坂英子, 木村友厚: 関節リウマチに対する Multilock セメントレス人工股関節ステムの長期成績. 第 33 回日本股関節学会学術集会, 2006, 10, 東京.
- 58) 川口善治, 関 庄二, 千葉一裕, 三上靖夫, 木村友厚, 池川志郎: 腰椎椎間板ヘルニアにおける疾患感受性遺伝子

の同定．第 21 回日本整形外科学会基礎学術集会，2006，10，長崎．

- 59) 金森昌彦，安田剛敏，野上重治，川口善治，頭川峰志：脊椎硬膜内髄外腫瘍の画像診断．第 41 回日本脊髄障害医学会，2006，11，千葉．
- 60) 頭川峰志，藤田雄介，金森昌彦，安田剛敏，青木雅人：転位型腰椎椎間板ヘルニアの病態と神経根障害様式について．第 41 回日本脊髄障害医学会，2006，11，千葉．
- 61) 鈴木賀代，中野正人，金森昌彦，安田剛敏：HA スペースーを用いた片開き式頸椎椎弓形成術の検討．第 41 回日本脊髄障害医学会，2006，11，千葉．
- 62) 安田剛敏，金森昌彦，信清正典，川口善治，野上重治，堀 岳史：腰椎変性疾患における画像上の不安定性と自覚症状の関連．第 41 回日本脊髄障害医学会，2006，11，千葉．
- 63) 頭川峰志，藤田雄介，金森昌彦：腰椎椎間関節腫の臨床経験．第 12 回岐阜県国保地域医療学会，2006，11，岐阜．
- 64) 松下 功，森田裕司，長田龍介，下条竜一，杉森一仁，小坂英子，木村友厚：THA 術後の ADL について - 26mm 骨頭と 32mm 骨頭使用群の比較検討 - ．第 34 回日本リウマチ・関節外科学会，2006，11，新潟．
- 65) 小坂英子，松下 功，杉山英二，多喜博文，篠田晃一郎，木村友厚：生物学的製剤投与患者の荷重関節の経時的変化．第 34 回日本リウマチ・関節外科学会，2006，11，新潟．
- 66) 川口善治，堀 岳史，木村友厚：頸椎椎弓形成術後に OPLL の骨化巣はどのように伸展するか？ 第 2 報 骨化巣幅の検討 ．脊柱靭帯骨化症研究班会議，2006，11，東京．
- 67) 川口善治：腰痛患者における腰椎変性所見と骨密度との関連．第 14 回日本腰痛学会，2006，11，福井．
- 68) 川口善治，石原裕和，阿部由美子，関 庄二，堀 岳史，漆崎垂弥，木村友厚：腫瘍の増大により死の転帰をとった頸髄腫瘍の一例．第 17 回北陸脊椎脊髄外科研究会，2005，12，金沢．

## その他

- 1) 木村友厚：関節軟骨破壊の分子メカニズムと治療戦略研究の最近の進歩．第 79 回日本整形外科学会学術総会，2006，5，横浜．
- 2) 木村友厚：軟骨マトリックスと運動器疾患．第 5 回松本ボーンフォーラム，2006，5，長野．
- 3) 木村友厚：関節症 - その基礎と治療展望 - ．第 4 回桜 骨・関節研究会，2006，6，東京．
- 4) 木村友厚：整形外科医のリウマチ薬物治療 - 関節破壊の制御から修復に向けて - ．第 192 回阪神整形外科談話会，2006，6，尼崎．
- 5) 木村友厚：関節リウマチの早期薬物療法．第 5 回日本整形外科学会認定リウマチ医研修会，2006，7，東京．
- 6) 木村友厚：リウマチと関節症治療 up-to-date - 関節軟骨破壊も治せるのか - ．富山県整形外科医会教育研修講演会，2006，8，富山．
- 7) 木村友厚：関節破壊のメカニズム．第 1 回日本リウマチ学会中部支部地方研修会，2006，9，名古屋．
- 8) 木村友厚：関節症の基礎と治療の Latest Knowledge．第 8 回 Latest Orthopedics 研究会，2006，12，岡山．
- 9) 金森昌彦：頸椎病変と耳鼻科領域との接点．第 31 回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会，2006，10，富山．
- 10) 森田裕司：大腿骨頭に骨萎縮をきたす疾患．Ortho Community，2010-2012，2006．
- 11) 松下 功：疾患別運動器リハビリテーション．運動器リハビリテーション セラピスト研修会，2006，3，富山．
- 12) 松下 功，杉山英二，多喜博文，篠田晃一郎，引網宏彰，長田龍介，小坂英子，木村友厚：当院におけるリウマチ教育検診入院 - RA のトータルマネージメントを目指して - ．第 1 回富山リウマチ・トータルマネージメント研究会，2006，7，富山．
- 13) 小坂英子，松下 功，杉山英二，多喜博文，篠田晃一郎，引網宏彰：当院における関節リウマチ患者の骨粗鬆症について～教育検診入院の結果を中心に～．富山ステロイド骨粗鬆症講演会，2006，7，富山．
- 14) 松下 功：関節リウマチについて～その病態と治療～．富山市特定疾患療養相談会，2006，9，富山．
- 15) 川口善治：Project.S ベネットを含めた 4 群の前向き試験の比較．富山骨粗鬆症治療学術講演会，2006，1，富山．
- 16) 川口善治：上位胸部椎で脊髄症を呈した関節リウマチの 2 例．リウマチ頸椎病変の治療に関するエビデンス形成のための体制確立と技術開発研究班 平成 17 年度第 2 回班会議，2006，1，東京．
- 17) 川口善治：より良い研修をするために - 研修医に対する富山大学附属病院のアメニティーへの取り組み - ．富山大学後期研修医セミナー，2006，10，富山．
- 18) Kawaguchi Y.: A case of adjacent segment disease following lumbar fusion surgery. AO Spine course, 2006, 10, 東京.
- 19) 川口善治：腰椎疾患における最近の話題．いわき市医師会整形外科部会，2006，6，福島．
- 20) 川口善治：長期成績からみた頸椎椎弓形成術の適応と問題点．第 23 回立山セミナー，2006，7，富山．

- 21) 川口善治：骨転移に対する手術療法．第6回緩和ケア勉強会，2006，7，富山．
- 22) 川口善治：骨粗鬆症の治療：ベネットを含めた4群の前向き試験の比較．金沢骨粗鬆症勉強会，2006，7，金沢．
- 23) 川口善治：腰椎椎間板疾患（椎間板ヘルニア）における遺伝的背景．金沢骨粗鬆症勉強会，2006，7，金沢．
- 24) 土井田稔，細野 昇，川口善治，白石 建：頸椎 laminoplasty 術後の軸性疼痛 - その病態と対策 - ．The Spine Perspectives，3：1-7，2006．
- 25) 川口善治：手術記録（オペレコ）の効用．脊髄脊椎ジャーナル，19：903-904，2006．
- 26) 川口善治：腰椎後方手術（器械出しの奥義 整形外科編）．OPE nursing：4-7，2006．
- 27) 川口善治：X線診断 Q and A．整形外科，57：829-830，2006．
- 28) 長田龍介：小指球部の圧痛．Ortho Community，19，10-12，2006．